

平成 31 年 1 月 15 日

平成 30 年 12 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は全体的に荷動きが活発に推移し、特に学参テキスト関連の前倒しの仕事もあり前年を上回った。
（前年比 109.5%）

巻取は新年向け不動産投資・金融向けチラシ申込書等を中心に動きに盛り上がりが見られ前年を大幅に上回った。
（前年比 117.6%）

再生紙平判は前年並みの動きであったが、巻取は中央省庁関連大口物件の仕事もあり、前年を大幅に上回り再生紙全体では前年を上回った。
（前年比 再生上質平判 99.5% 再生上質巻取 125.4% 再生上質計 110.6%）
（前年比 印刷用紙 A 111.0%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保関連のパンフレット、各企業カタログ等動きが見られ又巻取品の品薄による小ロット案件の平判への移行や仮需の影響もあり、グロス紙、マット紙とも前年を上回った。

巻取は生損保、不動産、自動車関連のパンフレット、チラシ等で動きが見られ、品薄が続いた状況ではあったが、仮需の影響で前倒しされた案件も多くありグロス紙、マット紙とも前年を上回った。
（前年比 平判 103.0% 巻取 112.6% 全体 105.0%）

<A3 コート>

金融関連、家電、量販店の年末年始向商戦チラシ、学習塾チラシ等で動きが見られ巻取を中心に前年を上回った。
（前年比 平判 97.5% 巻取 104.1% 全体 101.5%）

<ノーカーボン紙>

昨年あった生損保系特需もなく、年末年始の需要も見られず前年を大きく下回った。
（前年比 平判 96.4% 巻取 82.6%）

<上質フォーム>

生損保官庁関連の通知書等の動きは見られたが、新規等の取り込みはなく前年を下回った。
（前年比 95.8%）

<包装用紙>

特殊両更は官公庁、金融向け封筒用途が一段落し前年を下回った。

(前年比 81.5%)

軽包装は製本会社向けの雑包装用途が振るわず前年を下回った。

(前年比 84.0%)

両更晒は高額商品向けの手提げや封筒用途での動きはあったが前年を下回った。

(前年比 91.1%)

片艶晒は専門店手提げ袋用途や金融関係の封筒用途で動きはあったが全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

(前年比 89.0%)

純白ロールはギフトの包装用途や高級包装紙用途が好調で前年を上回った。

(前年比 105.3%)

包装紙合計で 89.4%と前年を下回った。

<板紙>

医薬、化粧品関連は堅調に推移し、年末年始の長期連休にて土産物のパッケージも動きがあったが、食品、菓子関係等のパッケージの動きが鈍く、全体的な盛り上がりにも欠け前年を下回った。

(前年比 93.6%)